

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【公表番号】特表2011-511916(P2011-511916A)

【公表日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-015

【出願番号】特願2010-546909(P2010-546909)

【国際特許分類】

F 16 J 15/08 (2006.01)

F 02 F 11/00 (2006.01)

【F I】

F 16 J 15/08 P

F 02 F 11/00 F

F 02 F 11/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月1日(2012.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

図10は、本発明のさらに別の局面に従い構成された多層ガスケット910を示す。類似のものは900番台が付けられて同様の参照番号で示される。ガスケット910は3つの機能層912、912および914と、距離層916とを有する。機能層912および914は、機能層12および14について上記と同じ構成および配置を本質的に有する。したがって、機能層912および914は距離層916の対向する側918および920に当接するよう配置され、距離層916は機能層912および914との間で挟持される。機能層912は機能層912に重なり、当接する。機能層912、912および914の各々は、距離層916の開口924と位置合わせされるよう寸法決めされている開口922を有し、それぞれの開口はシリンドラ孔926と位置合わせされるよう、互いに對して配置される。機能層912および914の各々は、層912および914の面930から外方向に延在するフル押圧封止ビード928を有し、シリンドラ孔926に対する気密封止の確立を容易にする。機能層912はフル押圧ビード928を有し、これは他の機能ビード928と同様に寸法決めされ、機能層912の機能ビード928と対向して配置されるよう構成されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

組立てられると、当接する機能層928および928はそれぞれのフルビード928および928が互いに鏡映の関係に並ぶよう配置されており、それぞれの頂942および942は互いに反対方向に向かう。ガスケット910は、第2の部分950に当接するよう配置されている、反対方向に向かうフルビードを有する2つの当接機能層912および912と、第2の部分950の反対側に当接するよう配置されているフルビードを有する第3の機能層914とを有することにより、使用の際にシリンドラヘッドとエンジンブ

ロックとの間で形成されるより大きい動的ギャップは、シリンダ孔 9 2 6 からの気体の漏れに対して封止可能である。